

さわどい

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ชาวสยาม

2007年5月
16号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局
〒350-1192 川越市田町32-12
武州ガス株内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

埼玉王

図書館が完成

本を添えて寄贈



▶ 広さは約九十二平方メートル。総工費約二百八十万円。子供向け本も寄贈された。



▲挨拶する土屋名誉会長。



▲図書館寄贈の証としての写真の額を囲んで。

当協会の重要な事業の一つである教育関連施設の建設、その三校目となる、メーホンソン県、バン・ナイ・ソイ校の図書館が、去る一月完成し、二月一三日、その竣工式が現地で行われました。同校は、近隣の小学校を卒業したものの進学する中学校がないカレン族などの少数山岳民族の子ども達も通う学校で、生徒数は幼稚園児、小、中学生、合わせて約三百人。周辺にも図書館はなく、同地域の文化施設としての活用も期待されています。

式には日本側からは、土屋名誉会長、原会長を始めとし同式に合わせて行われた第六回友好親善訪問参加者一行と、篠原チェンマイ総領事、堀越領事、新電元関係者等、合わせて三七名が出席しました。タイ王国側は、本事業関係者と共に多くの村人も参加、山岳民族の子どもの舞踊やタイ楽器による演奏が披露され、両国の親睦と交流が行われました。



▶ 多くの子ども達、村人たちが式を見守った。

第6回友好親善訪問を実施

土屋名誉会長等27名が参加

去る二月九日から一五日、第六回友好親善訪問が実施され、土屋名誉会長、原会長夫妻を始めとし会員27名が参加しました。

一行は、メーホンソン市で行われた図書館建設の祝賀会や竣工式、チェンマイ大学で行われた北部タイ学生日本語スピーチコンテストなどに出席

すると共にクンユーム戦争博物館を訪れるなど交流を深めました。またその間を縫ってチェンマイやバンコク観光をも楽しみました。

なお、土屋名誉会長、原会長夫妻ら7名は、チェンマイにあるドイサケット孤児院を視察しました。



▼クンユーム戦争博物館を訪問。日本軍戦没者の慰霊碑に献花し手を合わせる土屋名誉会長と原会長。



▼竣工式で舞踊を見せてくれたカレン族の子ども達。



▶ドイサケット孤児院で日本から用意したサッカーボールを手渡す土屋名誉会長と原会長。他にも टीシャツをプレゼントするなど孤児たちを激励した。



▲土屋名誉会長、原会長夫妻等を出迎えたドイサケット孤児院の子ども達。



▲チェンマイ市内のドイステープ寺院を訪れた参加者一行。他にバンコク市内観光なども楽しんだ。

スピーチの内容に感動

坂戸市 遠藤安寿さん



参

加

者

の

声

第6回親善訪問に参加し、初めてタイを訪れました。その中で特に印象的だったのは、タイ学生の日本語スピーチコンテストでした。私達が会場に着いた時は学生達のスピーチは既に終わっていましたが、我々のために優勝した学生が再度スピーチしてくれました。それを聞いて私は涙が出るほど感激しました。その日本語は現在の乱れた日本語とは違い、きれいな日本語で、内容は日本人より日本的でした。内容の構成も学生自身が考えて作っているようで、感性が日本人と似ているのかも知れないという感想を持ちました。他の学生達のスピーチが聞けなかったのが本当に残念でした。

また、クンユーム戦争博物館や白骨街道と呼ばれる戦跡を訪れたことも私にとって忘れられない思い出となりました。特に土屋名誉会長の軍歌のハーモニカ演奏には涙を禁じ得ませんでした。そして十万人ともいわれる日本兵を葬り、墓を立ててくれたタイの人たちへの感謝の思いを新たにしました。

日本と見紛う田の面

東京都渋谷区 平岡敏子さん



タイは縦に長い国だが、その最北端のミャンマーに国境を接する辺りのメーホンソンが今回の旅の目的地であった。此処に原会長が寄付された図書館竣工式典への出席である。

チェンマイからのプロペラ機でのフライトは、曇り渡る山並みすれすれの眺めであった。

少年少女は素朴で可愛らしくタイ伝統の踊りを披露して呉れた。首の長い少数民族の少女も美少女揃いであった。

帰路、タイの人達が日本兵を手厚く葬ったという墓地の幾つかに詣で、私達にこの優しさがあるだろうかと感謝と自戒頻りであった。

戻ってきた古都チェンマイは旧城跡の廻りに清らかなせせらぎが廻らされ、辺りの木々は亭々と繁り、城址の所々には往年の煉瓦が崩れた俣に遺されて、その風情に心打たれた。

バンコクではチャオプラヤ川とアユタヤを楽しんだがタイの人達の信仰心の厚さの象徴のような寺院の華麗さ。日本と見紛う田の面も（タイは3毛作）懐かしい光景であった。

原会長、タイ王国より ディレクナポーン勲章受章



▲シマサクン大使夫妻の前で受章の謝辞を述べる原会長。

子供たちの笑顔に励まされ

原宏

この度、プミポン国王より勲章をいただくという栄誉を授かり、大変光栄に思っています。この受章は当協会設立時よりご指導いただいている土屋名誉会長を始め、会員全員に授与されたものと受け止めて居ります。

これまでにミャンマーとの国境に近いタイのまだ貧しい北部、メーホンソン県の三ヶ所の学校に教育施設を寄贈してきました。現地を訪れ、先生や生徒、村人たちの喜ぶ素直な笑顔を見ては、この事業の正しさと成功を確信してきました。とりわけ子供たちの笑顔が私を励ましてくれます。同行された会員の皆様も同じ思いではないかと思えます。



会員の皆様には今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

当協会の原会長が、タイ王国における教育施設建設など、「草の根外交」での多大な功績が認められ、プミポン国王からディレクナポーン勲章第三等を授与されました。

勲章は昨年十二月五日、タイ大使館で、スイット・シマサクンタイ王国大使より、原会長に手渡されました。この勲章は一九九一年、プミポン国王により制定されたもので、タイ王国に顕著な貢献をした民間人に授与されているものです。「ディレクナポーン」とは「肥沃・豊富」「生産力・生産性」を意味しています。

第2回

北部タイ学生日本語スピーチコンテスト

在チエンマイ総領事館が主催し、当協会も協賛しました第二回北部タイ学生日本語スピーチコンテストが二月十日、チエンマイ大学で開催されました。去年を上回る三十名の学生が日本語のスピーチに挑戦、日頃の日本語勉強の成果を披露しました。丁度タイ北部を友好親善訪問中の当会会員等も参加し、出場した学生達の堪能振りに盛んな拍手を送っていました。

優勝者の男子学生には、主催者から日本への往復航空券が贈られ、土屋名誉会長から土屋賞として電子辞書、原会長からは原賞として置時計がそれぞれ受賞した学生へ贈られました。また、土屋名誉会長は、ハーモニカ演奏を披露し、参加者から盛んな拍手を浴びていました。



▲入賞者に、原賞を手渡す原会長。



▲学生たちのスピーチを応援する土屋名誉会長、原会長夫妻。

日タイ修好百二十周年記念レセプション

この日本語スピーチコンテストが、日タイ修好百二十周年記念事業の認定一号となり、その記念レセプションが、コンテスト終了後に市内ホテルで行われました。

挨拶に立った土屋当会名誉会長は、日本とタイの長い友好関係の歴史について述べ、これからは地方自治体や民間団体による心のこもった交流を積み重ね、信頼関係を築くことの大切さを語りました。また、主催者から原会長へ、昨年末受章されたディレクナポーン勲章を祝う花束が手渡されました。



▲日本語スピーチコンテストの参加者。



▲乾杯の音頭をとる土屋名誉会長。



▲日本舞踊を披露する参加者の捧さん。

タイにアクセス

会員 VOICE

自分の世界が広がります

狭山市 大石雪枝さん



これまで5回親善訪問に参加し、タイという国がとても身近になりました。特にメーホンソン県で出会う子供たちの恥かしげな笑顔やくるくるとよく動く瞳は、カメラが趣味で特に人を撮るのが好きな私にはとても魅力的です。「サワッデイ・カー」

「コップン・カー」「タイ・ループ・ダイヤモンド」(写真撮っていいですか) この三つの言葉を駆使(?)して子供達と交歓するのが楽しみです。

それから一緒にいる皆様との出会いもとても楽しく、私にとってとても有意義です。日頃の暮らしではどうして出会うことのない人達のいろいろな話を聞くことが出来て、自分の世界が広がります。第7回の親善訪問にも是非参加したいと思っています。

第9回総会

吉川和夫氏が講演

6月15日さいたま市の浦和東武ホテルにおいて、当友好協会の第9回総会を開催します。その際、日タイ・ビジネスフォーラム副会長の吉川和夫氏による講演会を行います。

吉川氏は元タイトーメン社々長で、タイには通算25年滞在。社外活動として日本人商工会議所理事を7年間務めました。退職後は、日本の各地の大学や商工会議所などにおいて、東南アジア地区の社会文化、市場開拓論等を講義してきています。ご期待ください。

なお、会員の皆様には追って詳しい総会案内を郵送します。

タイラカルト

行かないと損？

タイ・フェスティバル2007

5月12日(土)・13日(日)

am10:00~pm8:00

代々木公園イベント広場

有名タイ料理レストランが出す屋台のタイ料理を味わいながら、タイ音楽や舞踊を鑑賞。お腹が満足したらタイ雑貨の小物類を見て歩き、最後にナンプラーなどの調味料やスパイス、インスタントタイラーメン、タイカレーなどなど、タイの食材を買う。そんなタイづくしの1日はいかがですか？

タイ大使館庭で水かけまつり 好天に恵まれ賑わう



▲スピーチをするスウィット・シマサクンタイ大使

4月14日、タイ大使館の庭で恒例のソクラン(水かけ)祭りが行われました。この日は水かけまつりにはぴったりの初夏を思わせる天気で、若葉が光る館庭は多くの招待客で溢れました。

今年は日タイ修好120周年にあたり、参加者は入り口でタイの国花、ラーチャブルックと桜をあしらった記念バッジを胸に着け、庭に置かれた仏像に水を掛けていました。また、館庭のそこかしこには、様々なタイ料理の屋台が置かれ、ポアンマーライ(花輪)作りの実演なども参加者の目を引いていました。



会員募集中

埼玉・タイ王国友好協会では、多くの県民の皆様によりタイ王国を理解していただき、友好活動を積極的に進めていくために会員を募集しています。

年会費 法人会員 2万円
個人会員 2千円

申し込み 埼玉・タイ王国友好協会事務局
問い合わせ TEL:049-247-5428 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)

タイ事務局連絡先 電話番号が変更

バンコクのUIエレクトロニクス
タイランド内
02-712-6575

編集後記

●日本語スピーチコンテストの学生さんの日本語の上手さに脱帽。思わず自分の日本語を振り返り、反省しました。(N)

●タイ料理には欠かせない調味料のナムプラー。いつの間にか我が家の常備調味料になり、炒め物に威力を発揮してくれました。その調達先は5月のタイ・フェスティバルです。(O)